

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

大島架橋事業は、今年度、路線測量と予備設計を行っています。

～「第2回 大島振興と架橋を考える懇談会」を開催しました～

大島架橋事業を機会に、将来の大島振興について地域住民や産業団体などの方々と行政が協力して、意見交換や課題検討などをする場となる「大島振興と架橋を考える懇談会」の今年度第2回目が下記のとおり開催されました。

記

- 日時 平成21年3月1日(日) 午後2時から午後4時まで
- 場所 気仙沼市大島公民館大集会室
- 内容
- 1 開 会
 - 2 挨拶 実行委員会委員長 菅原 昭彦 氏
 - 3 議 事 ○テーマ「大島振興と架橋を考える上での課題の抽出」について
○他地域における架橋の事例紹介について
 - 4 閉 会
- 来場者 約70人

委員長あいさつ



事務局による説明



実行委員会委員の意見発表



懇談会参加者との意見交換



(開催内容)

1. 今回のテーマ「大島振興と架橋を考える上での課題の抽出」について

(1) 委員紹介

委員長：菅原昭彦氏(気仙沼商工会議所副会頭)

委員：水上忠夫氏(大島地区振興協議会会長) 菊田武範氏(大島地区自治会連絡協議会会長)

菅原弘氏(気仙沼大島観光協会理事) 堺健氏(合資会社大島宝島代表) 千葉まさ子氏(大島漁協)

小野寺光一氏(大島浪板線沿線自治会代表) 村上広志氏(大島青年研究会代表) 小松武氏(ヤマヨ水産代表)

大和田一彦(気仙沼市企画部長) 白岩亨(気仙沼地方振興事務所振興部長) 大内章由(気仙沼土木事務所長)

※欠席：眞山美知代氏(風待ち研究会代表)

(2) 委員会活動報告(大和田委員)

第3回委員会：平成20年11月27日，第4回委員会：平成21年2月5日

※「懇談会」に加えて，若い方の意見を聴取する「出前講座」の開催を準備

→3月6日開催予定

(3) 今回のテーマ「大島振興と架橋を考える上での課題の抽出」について(大内委員)

住民アンケートや実行委員会の議論で浮かび上がってきた課題を整理

①交通環境変化への対応：自由な往来や救急搬送が期待される一方，交通混雑や交通弱者への対応が必要

②住みよい環境づくり：騒音やごみ問題の発生に対して地域ぐるみの取組みが必要

③生活安全上の不安解消：犯罪や交通事故の増加が懸念されるため防犯意識の向上が重要

④大島らしさの維持：大島の豊かな自然は重要な資源，関係者相互の協力による保全対策が必要

⑤気仙沼地域のさらなる振興：架橋による変化をプラスにし，地域間交流の拡大や産業振興へ

(4) 他地域における架橋の事例紹介について

①気仙沼市議会行政視察結果報告(気仙沼市議会大島架橋・唐桑最短道建設促進特別委員会 鈴木副委員長)

②離島架橋の影響事例「長崎県生月島」(大島振興と架橋を考える懇談会実行委員会事務局)

(5) 意見交換

(参加住民・実行委員の主な意見)

〈交通問題〉本土側アプローチとなる県道大島浪板線の渋滞について十分検討してほしい。

〈島内環境〉島内施設の老朽化問題などの離島振興法適用事案について，架橋完成前に解決してほしい。

〈地域振興〉架橋のありなしに関わらず，島が豊かになるよう考えなければならない。市議会ばかりでなく，大島の住民も架橋の先進地を調査し学ばなければならない。せっかくの橋を活かすため，自らアイデアを出していこう。

〈架橋事業〉景気が急速に悪化し，架橋事業の推進に不安を感じる。事業を早く進めてほしい。大島地区から広く県民に架橋の必要性を示し，理解を得る努力が必要ではないか。後世に残るような橋にしてほしい。橋のタイプに住民の意見を反映できないか。

(実行委員会から)

・架橋の効果を最大限に引き出すため「課題解決の提案」を寄せてほしい。

→懇談会で用紙配布(3月末郵送回収)

大島架橋についての「お問合せ」は こちらまで

宮城県気仙沼土木事務所 道路建設班

〒988-0034 宮城県気仙沼市朝日町1番1号

TEL.0226-24-2546(直通) E-mail:ksdbk@pref.miyagi.jp

気仙沼市 建設部 三陸道・大島架橋・唐桑最短道促進課

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

TEL.0226-22-6600(内線567) E-mail:project@city.kesenuma.lg.jp

生月島の交通状況

架橋前

生月 ⇄ 平戸間フェリー
 11便/日(漁協運営)
 所要時間 生月島 ⇄ 平戸市役所
 50分[35分(フェリー)+15分(バス)]

架橋後

生月 ⇄ 平戸間フェリー 鹿航
生月大橋
 所要時間 生月島 ⇄ 平戸市役所
 30分(乗用車)、45分(バス)
 路線バス 18便/日

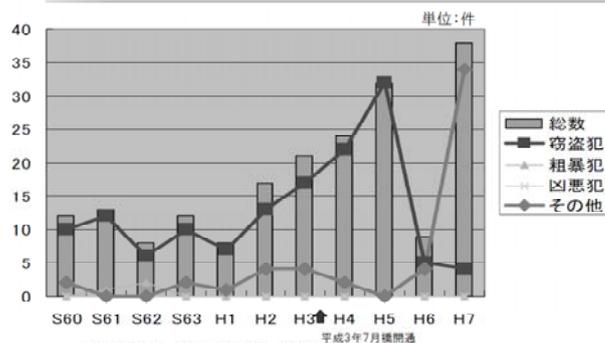
・大島では・・・

大島 ⇄ 気仙沼
 旅客船 14便/日(往復)
 カーフェリー 10便/日(往復)
 所要時間
 浦の浜～市立病院
 旅客船 29分(船+乗用車)
 フェリー 24分(船+乗用車)
 (待ち時間、乗降時間は除く)

架橋後 あまり変わらない

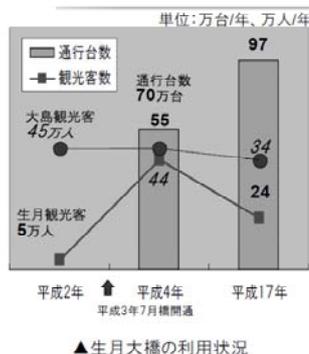
乗用車 20分
 (混雑、交差点は考慮せず)

生月島内の犯罪件数

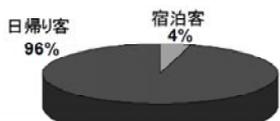


・架橋後に犯罪件数が増加
 窃盗犯(空き巣など)の被害が増えた
 知能犯(訪問販売など)の被害が増えた

生月大橋の利用状況と観光客の変化

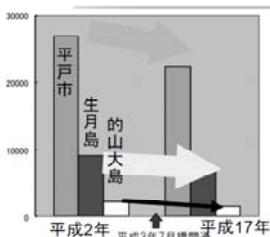


・橋の通行台数は右肩上がり
 ・架橋後観光客が大幅に増加
H2 ⇄ H4 12倍
大半が日帰り客
 ・生月住民の利用がさらに拡大
 (通勤・通学・買い物など)

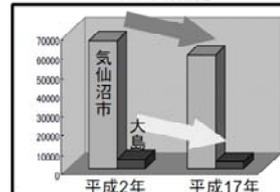


▲日帰り客の割合 (平成17年)

生月島の人口



架橋後の生月島は本土と同様の減少傾向
 ・平戸市は約17%減少
 ・橋の架かった生月島は約23%減少
 ・橋のない的山大島は大幅減
 (約31%減少)
架橋の影響？



・気仙沼市は約11%減少
 ・大島は約23%減少
架橋後の大島は・・・

■気仙沼市, 大島人口推移

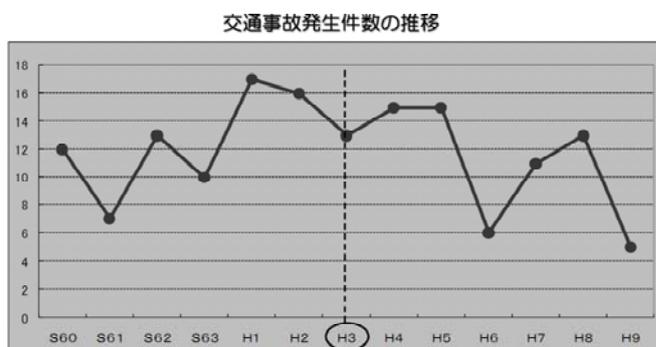
生月島での新たな取り組み事例

「いきつきロード大会」

- 架橋を契機にして島のPRを目的に開催
- 橋をコースに組み入れ実施
- 毎年開催し、約千人のランナーが参加
- 婦人会や農協、漁協も協力して盛上げ



交通安全面の変化



事故件数は増加していない。
 安全施設整備、交通安全活動の成果

生月島での新たな取り組み事例

(いきつきいさなくらぶ)

「生月勇魚倶楽部」

- 生月は、かつて有数の捕鯨基地
- 飲食店、旅館業がその伝統を継承するための組織
- 鯨文化交流大会の開催
- 生月鯨フェアの開催



生月島での新たな取り組み事例

「おさかな市場」

- 漁協の直営店
- 定置網でとれた魚介類を販売して人気
- 市価の2～3割安で人気
- 島で取れるカワハギをブランド魚として「生月はぎ」としてPR



皆様の意見の整理

期待されることは最大限に、危惧されることは最小限に

アンケートの結果	懇談会などでの意見
<p>(期待されること)</p> <p>救急搬送 自由な往来 避難路・輸送路 物価が安くなる 観光客が増える</p> <p>(不安なこと)</p> <p>交通事故の増加・マナーの悪化 犯罪の増加 騒音やごみ増加 道路の混雑 救急搬送に時間が掛かる</p> <p>(今後に為すべきこと)</p> <p>旅客船の存続・バス路線の設置 自然や景観を壊さない 防犯対策 など</p>	<p>(アンケートの自由意見)</p> <p>交通手段の確保 渋滞対策 交通弱者の負担軽減 大島らしさ存続 ごみ対策 犯罪・事故防止 観光や産業の振興 地域交流 大島のPR</p> <p>(懇談会・実行委員会での意見)</p> <p>交通弱者(高齢者や子供)対策 旅客船の存続・バス路線の設置 マナーの向上 防犯対策 大島地域のPR 人が島に戻る 地場産業の衰退 自然や景観の存続 島民の団結 など</p>
<p>交通 生活環境 安全 自然 地域振興</p>	

解決すべき課題①

【交通】について：

「交通環境の変化への対応」

架橋により自由な往来、緊急輸送路、救急搬送路などの直接的な効果を期待できる反面、新たな問題として、交通渋滞の発生、自動車を利用できない人などへの対応などが必要となります。

- | | |
|-------------|---------------|
| (期待されること) | (危惧されること) |
| ・自由な往来 | ・急激な交通環境の変化 |
| ・救急搬送路の確保 | ・交通混雑(渋滞、駐車場) |
| ・スムーズな緊急時輸送 | ・交通事故の増加 |
| | ・交通弱者への対応 |
| | ・公共交通機関の確保 |

解決すべき課題②

【生活環境】について：

「住みよい環境づくり」

騒音やごみの増加などは、他の離島架橋の事例が示すとおりです。しかし、行政による対応には限界があることから、住民や産業の協力により、地域ぐるみの活動を通して、ごみ減量などに取り組む必要があります。

- | | |
|-----------|-----------|
| (期待されること) | (危惧されること) |
| ・地域活動の活性化 | ・ごみ排出量の増加 |
| ・マナーの向上 | ・騒音 |
| ・景観の維持 | |

解決すべき課題③

【安全】について：

「生活安全上の不安解消」

多くの人々が来島すると、犯罪や交通事故などのトラブルが多くなることが考えられ、思わぬ被害に遭う恐れがあります。これらの被害は、予測して対策を考えておかなければなりません。

- | | |
|-----------|-------------|
| (期待されること) | (危惧されること) |
| ・防犯活動の活性化 | ・犯罪、交通事故の増加 |
| ・意識向上 | ・マナー悪化 |
| ・地域の結束 | |

解決すべき課題④

【自然】について：

「大島らしさの維持」

大島の豊かな自然や景観など、住民には日常のことでも、観光客には魅力であり、重要な資源です。行政・住民・産業がそれぞれの立場で出来ることを見つけ、お互い協力しながら、これらを保全していくことが重要です。

- | | |
|------------|-----------|
| (期待されること) | (危惧されること) |
| ・大島の魅力の再発見 | ・乱開発の可能性 |
| ・大島の魅力をPR | ・魅力の低下 |
| ・観光資源化 | ・景勝地などの汚染 |
| ・環境教育活動 | |

解決すべき課題⑤

【地域振興】について：

「気仙沼地域のさらなる振興」

架橋により大島は様々な面で大きく変化します。これをプラスに捉え、他事例を参考に様々な検討・実践を重ねて、他地域との交流、産業の発展などに繋げていく必要があります。

- | | |
|------------|-----------|
| (期待されること) | (危惧されること) |
| ・販路の拡大 | ・優遇措置の解除 |
| ・定住者の増加 | ・本土の商圏の拡大 |
| ・他地域との交流増加 | ・宿泊者の減少 |
| ・観光客の増加 | ・大島らしさの衰退 |
| ・労働環境の向上 | |
| ・物価が安くなる | |